

# 「副田小・入来中学校区の副田楽下手一本矢旗太鼓踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

薩摩川内市立副田小学校・入来中学校

## 2 学年・人数

小学3年生1人，4年生2人，5年生1人，中学1年生1人，中学3年生3人  
(計8人)

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

平成28年7月～8月 下手自治会館

### (2) 発表の日時・場所

平成28年8月28日(日) 下手自治会館，元村諏訪神社，入来支所，  
湯之山館前 等 町内約15か所

※8月28日に近い，そして8月28日を越えない日曜日に踊りを披露

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

### (1) 名称

副田楽下手一本矢旗太鼓踊り(そえだがくしもでいっぽんやばたたいこおどり)

### (2) 由来

島津義弘が，朝鮮出兵の折，兵士の士気を高めるために，家臣に習得させ，それが県内各地に広まったのが始まりとされ，その後は，無病息災・五穀豊穰を願い伝承されてきている。そして現在は，「薩摩川内市指定無形文化財」に指定されている。

### (3) 構成等

太鼓踊りは，鉦(かね)打ちと太鼓打ちで構成され，鉦打ちは1番鉦・2番鉦・3番鉦・小鉦に分かれ，造花で飾り，しでを垂らした花笠をかぶり踊る。太鼓打ちは，馬の毛傘を被り，約4mの長さの矢旗を背負い，太鼓を抱えて踊る。踊り子は，大人と児童・生徒合わせて総勢約25人で，一緒に練習する中で，引き継がれている。

## 5 保存会や地域との連携の具体

下手自治会が保存会となっており，下手自治会の児童・生徒が地域の方の指導で，練習を行い，諏訪神社大祭日に入来の郷土芸能である「太鼓踊り」を奉納する。学校では，参加児童・生徒の作文紹介，踊りの様子を録画したDVDなどで，他の児童・生徒への踊りの紹介を行っている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

全校朝会での児童・生徒への紹介，学校便りでの保護者や地域への広報をしている。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【児童・生徒】

- ・ 練習はきつくて大変だったけれど，たくさんの人と一緒に練習し，みんなで本番に踊ることができたのでよかったです。
- ・ 伝統行事だから，頑張ろうと思って練習しました。踊りを覚えていき，楽しくなりました。
- ・ 今よりももっと上手になって，来年もがんばろうと思いました。

### 【保護者】

- ・ 小学校の子供たちも2年目，3年目になり，上手になろうと暑い中での練習に励んでいました。自治会館での練習だけでなく，家でもビデオを見て覚えています。地域の方々と練習し，たくさんの人達の前で踊ったことが善き思い出となり，また，いつかは自らが伝承者になってくれればと願っています。

### 【教職員】

- ・ 暑い中での練習をがんばり，踊りをしっかり覚えて，大人の方と一緒に一生懸命踊る姿に感動しました。子供たちは地域の中でいろいろなことを教えていただき，大きく成長していました。練習をがんばったこと，たくさんの方々の前で踊りを披露したことなど，とても貴重な経験だと思います。これからも地域の伝統芸能を継承していることに誇りを持ち，故郷を愛するたくましい子供たちであってほしいと思います。

### 【保存会から】

- ・ 各地域に数多くあった伝統芸能も，時代の流れ，少子化に伴い途絶えていく中，保存会のメンバーやその家族が，下手太鼓踊りを次世代に伝承していこうと地域・校区の協力を得ながら取り組んでいます。今年も子供たちが元気よく踊り，観客に大変喜んでいただきました。現在，児童は4人ですが，仲間を増やし，いつまでもこの踊りが絶えないよう取り組んでいきたいと考えています。

### 【地域の方から】

- ・ 昔からあるこの太鼓踊りを見ることにより，夏も終わりだなと感じます。また，大人といっしょに小さな子供たちが，元気よく大きな声を出しながら踊っている姿を観て，元気をもらっています。いつまでもこの踊りを残して行ってほしいと願っています。